

埼玉県臨床心理士会平成 29 年度大会 公開講演会のお知らせ

日時：平成 29 年 6 月 25 日（日）

9：15 受付開始 講演 9：50～12：20

会場：市民会館おおみや 大ホール

埼玉県臨床心理士会大会の午前の部は、一般公開として皆さまと共に学び合う時間としております。

我々臨床心理士が連携させていただくことの多い関係機関の方々、臨床心理士を目指す学生さん、他県臨床心理士会の方々、近くにお住まいの一般の方々など、ご興味をお持ちの皆さまのご参加をお待ちしております。

午前の部（一般公開） ※午後の部は埼玉県臨床心理士会会員のみとなります
9：45～ 9：50 埼玉県臨床心理士会 会長あいさつおよび講師紹介
9：50～12：20 一般公開講演会「発達障害がある大学生への支援について」
講師 渡辺 慶一郎先生（東京大学学生相談ネットワーク本部）

～講師より～

日本学生支援機構の悉皆調査によれば、高等教育を受けている障害学生のうち障害種別に占める発達障害の割合は年々上昇している。また東京都教育委員会の調査によれば、都立高校に通う生徒で発達障害の存在が考えられる者は 2.2%に及んだという。このように、知的能力が保たれている発達障害学生・生徒が一定数いることは無視できない事実である。

発達障害のうち大学で最も多く認知されているのは自閉スペクトラム症（ASD: Autism Spectrum Disorder）であり、在学中には(1)修学支援、(2)就労支援、(3)メンタルヘルスが重要な支援ポイントである。これらを学生の成長支援という観点から総合的に進めることが目標であるが、そのためには学生と支援者の間に基本的な信頼関係が構築されていることが望ましい。

従来、ASD がある者への精神療法的アプローチの有効性は低いと考えられてきた。そもそも ASD の性質に対人コミュニケーションの相互性障害が含まれているし、臨床実践からもそれは否定しにくいところがある。しかし、自己理解を促し環境調整を行うだけでは十分に展開しない一群があり、中には試行錯誤の末に精神療法的に繋がることもある。

一般に、どのように面接を ASD 学生に展開すれば有効なのかは今後の課題であるが、上記の(1)～(3)に取り組む上で疎かに出来ない領域である。本講演ではこの点を強調して問題提起としたい。

《申し込み方法》

事前申し込みが必要です。参加できるのは午前の部のみです。
6月18日（日）までに、Eメール*でお申し込み下さい。
氏名・電話番号・Eメールアドレス（gmailが受信できるもの）・ご職種・
ご所属（任意）をお知らせください。

一般参加者の申し込み先 ssccp2017taikai@gmail.com

《参加費》

現金払い 1,000円（当日、受付にて直接お支払い下さい）

《問い合わせ先》

大会に関するご連絡やお問い合わせは、全て以下のEメール*で受けつけます。

ssccp2017taikai@gmail.com

大会の情報は埼玉県臨床心理士会ホームページでもご覧いただけます。



＜市民会館おおみや＞

埼玉県さいたま市大宮区下町 3-47-8

JR「大宮」駅東口より徒歩 15分

※悪天候等で交通機関の運休が想定される場合は、前日午後8時までに埼玉県臨床心理士会のホームページにて開催可否をお知らせいたします。

* お申込みやお問合せは、原則Eメールでお願いいたします。Eメールをご利用なさらない方や、Eメール送信後1週間を過ぎてもこちらからの返信が確認できない場合は、埼玉県臨床心理士会事務局までFAX（020-4666-4338）にてご連絡ください。その際は、必ず連絡のつく電話番号またはFAX番号をお知らせください。お使いのPC、携帯電話、スマートフォンなどがg-mailを受信できない設定になっていると、こちらからの返信が届きませんのでお気をつけください。